

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時:令和 8 年6月 25 日(木)

10:40~12:20

場 所:松江市立城北小学校

多目的室・各教室

指導者:城北小学校教員4名

埋蔵文化センター職員4名

1 主題 はにわ作り体験と校区内の遺跡

2 ねらい ○校区内の遺跡や古墳を知ること、地域の歴史・文化についての理解・関心を深める。

○はにわ作り体験を通して、古代の人々の生活や文化への理解を深める。

3 展開

時間	学習内容	支援等	準備物
10:40 ~10:45	はじめの会(多目的室) ・本時のねらい ・講師紹介(自己紹介)	・本時の見通しをもてるよう、学習内容やねらいを伝える。	学校準備物 ・プロジェクター ・スクリーン ・パソコン
10:45 ~11:00	身近な遺跡や古墳を知る 「はにわ」について学ぶ	・学校周辺の遺跡地図から身近なところに遺跡や古墳があることを示す。 ・古墳の写真(パワーポイント)や出土品を示し、興味を持てるようにする。 ・「はにわ」がどのようなものであったか、写真などで説明し、体験活動への動機付けをする ・教室へ移動する前に近くで遺物を見学	センター準備物 ・遺跡地図・資料 ・出土遺物 ・粘土板・加工具 ・製作手順のプリント 児童準備物 ・粘土板
11:00~	出土遺物見学・教室移動	・体験の前に製作手順を説明する。	・粘土用へら
11:10 ~12:10 12:10 ~12:20	はにわづくり体験(各教室) 終わりの会 ・感想発表 ・質疑応答 片づけ	・児童の様子を見まわりながら、必要に応じてアドバイスをする。 ・教諭から児童数名の感想を聞き、まとめる	・水入れ センター準備物 粘土・『芯』

4 準備物

(小学校) 遺物を置く台、パソコン(パワーポイント)、プロジェクター、スクリーン

(児童) 筆記用具、粘土板、粘土用へら、水入れ、タオル、汚れてもよい服

(埋文センター) 出土遺物、遺跡関係資料、粘土、埴輪作り資料、カメラ、

ラップを巻いたトイレットペーパーの芯